

◆高校生のセックスを認めている人の割合（表 32）

セックスの意味を知っている中学生に、高校生がセックスをすることをどう思うか尋ねた（表 32）。高校生のセックスを「かまわない」「どちらかと言えばかまわない」と答えた人を合わせて、高校生のセックスを認めている群とすると、中1男子 49.6%、中1女子 54.7%、中2男子 59.7%、中2女子 62.3%、中3男子 67.8%、中3女子 69.4%と5割から7割もの生徒が認めており、実際の性経験はないが、セックス予備軍が多数存在していることが示された。また、容認率は学年とともに上昇し（ $p<0.001$ ）、男子より女子にその傾向が強かった。つまり、学年が上がるにつれて規範意識が減少し、中学生のセックスに対する態度よりも男女差が減っていた。

表 32.高校生がセックスすることについてどう思うか

	1年生				2年生				3年生			
	男	%	女	%	男	%	女	%	男	%	女	%
かまわない	287	35.7	305	32.3	411	42.3	405	39.4	556	50.5	514	45.2
どちらかと言え ばかまわない	112	13.9	211	22.4	169	17.4	235	22.9	191	17.3	275	24.2
どちらかと言え ばよくない	119	14.8	169	17.9	125	12.9	158	15.4	128	11.6	153	13.5
よくない	103	12.8	104	11.0	96	9.9	79	7.7	53	4.8	55	4.8
わからない	178	22.1	150	15.9	166	17.1	143	13.9	165	15.0	136	12.0
不明	5	0.6	4	0.4	4	0.4	7	0.7	8	0.7	4	0.4
合計	804	100	943	100	971	100	1027	100	1101	100	1137	100

◆交際相手以外の人とのセックスの容認率（表 33）

セックスの意味を知っている中学生に「交際相手以外とのセックスをどう思うか」を尋ねた（表 33）。「交際相手以外の人とのセックス」を容認している割合（「かまわない」+「どちらかと言えばかまわない」）は、女子は学年にかかわらず1割で、男子では約2割であり、男子の容認度が高かった（ $p<0.001$ ）。女子では学年による変化は見られなかったが、男子では中3でやや上昇した（ $p<0.001$ ）。

表 33.付き合っていない人とセックスすることについてどう思うか

	1年生				2年生				3年生			
	男	%	女	%	男	%	女	%	男	%	女	%
かまわない	127	15.8	49	5.2	143	14.7	62	6.0	193	17.5	70	6.2
どちらかと言え ばかまわない	42	5.2	45	4.8	65	6.7	60	5.8	86	7.8	56	4.9
どちらかと言え ばよくない	105	13.1	163	17.3	176	18.1	169	16.5	202	18.3	168	14.8
よくない	362	45.0	609	64.6	411	42.3	670	65.2	443	40.2	770	67.7
わからない	166	20.6	74	7.8	170	17.5	61	5.9	168	15.3	69	6.1
不明	2	0.2	3	0.3	6	0.6	5	0.5	9	0.8	4	0.4
合計	804	100	943	100	971	100	1027	100	1101	100	1137	100

◆中絶の意味を知っているか (表 34)

セックスの意味を知っている中学生に中絶の意味を尋ねた。中1男子23%、中1女子46%、中2男子40%、中2女子70%、中3男子53%、中3女子81%と男子では2~5割、女子では5~8割と男女に大きな差があり (p<0.001)、学年差も大きかった (p<0.001)。

表 34. 中絶とはどういうことか知っているか

	1年生				2年生				3年生			
	男	%	女	%	男	%	女	%	男	%	女	%
はい	185	23.0	432	45.8	391	40.3	716	69.7	581	52.8	917	80.7
いいえ	611	76.0	505	53.6	570	58.7	303	29.5	506	46.0	214	18.8
不明	8	1.0	6	0.6	10	1.0	8	0.8	14	1.3	6	0.5
合計	804	100	943	100	971	100	1027	100	1101	100	1137	100

◆中絶に対する態度 (表 35)

セックスの意味を知っている中学生に中絶することをどう思うか尋ねた (表 35)。「絶対によくない」「よくない」と思っている人は、中1男子27.7%、中1女子49.3%、中2男子41.2%、中2女子59.0%、中3男子50.2%、中3女子64.7%で、「中絶をよくないと思っている」割合は高学年ほど上昇し (p<0.001)、女子の方が2割も高かった (p<0.001)。つまり、高学年ほど、また女子の方が中絶に対して否定的であった。

表 35. あなた、または、あなたの相手が中絶をすることについてどう思うか

	1年生				2年生				3年生			
	男	%	女	%	男	%	女	%	男	%	女	%
意味がわからない	334	41.5	135	14.3	192	19.8	40	3.9	110	10.0	20	1.8
かまわない	23	2.9	10	1.1	29	3.0	12	1.2	23	2.1	11	1.0
しかたがない	100	12.4	190	20.1	178	18.3	207	20.2	213	19.3	182	16.0
よくない	112	13.9	191	20.3	170	17.5	238	23.2	243	22.1	237	20.8
絶対によくない	111	13.8	273	29.0	230	23.7	368	35.8	309	28.1	499	43.9
考えられない	99	12.3	123	13.0	142	14.6	144	14.0	174	15.8	176	15.5
不明	25	3.1	21	2.2	30	3.1	18	1.8	29	2.6	12	1.1
合計	804	100	943	100	971	100	1027	100	1101	100	1137	100

◆身近な人の中絶経験（表 36）

セックスの意味を知っている生徒に、あなたの周りの人が中絶したと聞いたことがあるかを尋ねた（表 36）。全体では 1～3 割の生徒が中絶経験を聞いたことがあると回答した。学年順では、男子では、5%、7%、13%であったが、女子では 14%、16%、27%で男子のほぼ 2 倍の割合であった（ χ^2 九年さは男女とも $p < 0.001$ 、男女差は全て $p < 0.001$ ）。

表 36. あなたの周りの人(家族・知り合い・近所の人など)が中絶したという話を聞いたことがあるか

	1 年生				2 年生				3 年生			
	男	%	女	%	男	%	女	%	男	%	女	%
ある	39	4.9	128	13.6	64	6.6	163	15.9	139	12.6	304	26.7
ない	742	92.3	801	84.9	883	90.9	856	83.3	946	85.9	826	72.6
不明	23	2.9	14	1.5	24	2.5	8	0.8	16	1.5	7	0.6
合計	804	100	943	100	971	100	1027	100	1101	100	1137	100

◆身近な人の中絶経験と中絶に対する態度との関係（表 37）

セックスの意味を知っている中学生における、周囲の人の中絶経験と中絶に対する態度との関係を調べた。男女とも身近な人の中絶経験のある群が中絶を否定的に捉えており（ $p < 0.0019$ 、男性より女性に否定的捉え方が強かった（ $p < 0.001$ ））。

表 37. 中絶の話を聞いた経験の有無別「中絶に対する態度」の割合

中絶の話を聞いたことがあるか	男				女			
	ある	%	ない	%	ある	%	ない	%
わからない	4	1.6	622	24.1	5	0.8	185	7.4
かまわない	12	4.9	63	2.4	9	1.5	24	1.0
仕方がない	71	29.2	422	16.4	124	20.8	457	18.4
良くない	33	13.6	493	19.1	111	18.6	554	22.3
絶対に良くない	81	33.3	570	22.1	267	44.8	876	35.2
考えられない	38	15.6	374	14.5	78	13.1	363	14.6
不明	4	1.6	34	1.3	2	0.3	28	1.1

◆避妊の意味を知っている割合（表 38）

セックスの意味を知っている生徒に中絶の意味を尋ねた（表 38）。男子では学年順に、28%、44%、62%で、女子では 53%、73%、84%と高学年ほどよく知っており（学年変化 $p < 0.001$ ）、また女子の方が 20～30%も高率であった（ $p < 0.001$ ）。

表 38. 避妊という言葉を知っていますか

	1 年生				2 年生				3 年生			
	男	%	女	%	男	%	女	%	男	%	女	%
はい	222	27.6	501	53.1	428	44.1	747	72.7	686	62.3	952	83.7
いいえ	574	71.4	436	46.2	525	54.1	273	26.6	404	36.7	178	15.7
不明	8	1.0	6	0.6	18	1.9	7	0.7	11	1.0	7	0.6
合計	804	100	943	100	971	100	1027	100	1101	100	1137	100

◆これまで学校で習った性情報（表 39）

これまでに性に関して学校で習ったことを表○に示す。最も多かったのが、「妊娠/出産」についてが中1で5～6割、中2で6～8割、中3で5～7割が習ったと報告した。次が「エイズ」について、中1～中2で約5割、中3で6割で、「エイズ/STDの予防方法」は中1で約2割、中2で2～3割、中3で3割であった。「性感染症」は中1で1割、中2で2割、中3で3割で「エイズ」教育よりもかなり割合が低かった（ $p<0.001$ ）。「中絶」「避妊」に関しては、中1は2～6%、中2で1～2割、中3で2～3割であった。また、「男性用コンドームの使用法」は全学年とも1割以下であった。全体でみると、「妊娠/出産」と「エイズ」はかなり教えられているが、「一般の性感染症」はそれよりも低く、「避妊」「中絶」「男性用コンドーム使用法」など具体的な予防方法に関する教育はまだ十分とはいえないことが示された。

表 39.学校で習ったこと

	1年生				2年生				3年生			
	男	%	女	%	男	%	女	%	男	%	女	%
セックス	277	24.9	298	26.2	470	40.0	429	36.8	467	37.3	507	41.5
妊娠/出産	508	45.7	676	59.4	737	62.7	913	78.4	667	53.3	878	71.9
中絶	40	3.6	69	6.1	150	12.8	202	17.3	178	14.2	328	26.9
避妊	24	2.2	45	4.0	98	8.3	149	12.8	153	12.2	227	18.6
性病	149	13.4	170	14.9	255	21.7	231	19.8	358	28.6	407	33.3
エイズ	566	50.9	626	55.0	592	50.4	574	49.3	699	55.9	786	64.4
AIDS,STDの予防方法	237	21.3	219	19.2	303	25.8	231	19.8	386	30.9	414	33.9
男性用コンドーム使用法	53	4.8	22	1.9	106	9.0	45	3.9	125	10.0	67	5.5
女性用コンドーム使用法	21	1.9	6	0.5	31	2.6	28	2.4	28	2.2	20	1.6
同性愛	109	9.8	137	12.0	148	12.6	156	13.4	143	11.4	104	8.5
自分自身の体について	652	58.7	858	75.4	729	62.0	894	76.7	642	51.3	888	72.7
その他	16	1.4	23	2.0	14	1.2	10	0.9	15	1.2	6	0.5
セックス	277	24.9	298	26.2	470	40.0	429	36.8	467	37.3	507	41.5
合計	1111	100	1138	100	1175	100	1165	100	1251	100	1221	100

◆現在、性に関して知りたいこと（表 40）

現在、中学生が性に関して知りたいと回答した内容を表 40 に示す。全学年とも最も多かったのが、「エイズ/STD の予防方法」で 2～4 割、次が、「性感染症」「エイズ」で 2～3 割が、現在習いたいと希望していた。避妊、性病、エイズ、予防についての希望が相対的に高く、学年とともに上昇した（ $p<0.01$ 、 0.001 ）。男性コンドームについては、低率であるが、学年とともに希望が上昇した（ $p<0.01$ 、 0.001 ）。

表 40.性に関して習いたいこと

	1 年生				2 年生				3 年生			
	男	%	女	%	男	%	女	%	男	%	女	%
セックス	187	16.8	175	15.4	223	19.0	192	16.5	243	19.4	192	15.7
妊娠/出産	54	4.9	129	11.3	57	4.9	122	10.5	72	5.8	159	13.0
中絶	109	9.8	134	11.8	89	7.6	135	11.6	112	9.0	193	15.8
避妊	99	8.9	174	15.3	125	10.6	260	22.3	177	14.1	329	26.9
性病	161	14.5	224	19.7	185	15.7	257	22.1	275	22.0	381	31.2
エイズ	201	18.1	250	22.0	203	17.3	283	24.3	266	21.3	355	29.1
AIDS,STD の予防方法	225	20.3	331	29.1	241	20.5	350	30.0	294	23.5	428	35.1
男性用コンドーム使用法	165	14.9	88	7.7	239	20.3	154	13.2	263	21.0	175	14.3
女性用コンドーム使用法	106	9.5	228	20.0	128	10.9	296	25.4	134	10.7	358	29.3
同性愛	76	6.8	169	14.9	92	7.8	175	15.0	78	6.2	155	12.7
自分自身の体について	125	11.3	152	13.4	119	10.1	168	14.4	150	12.0	156	12.8
その他	58	5.2	57	5.0	69	5.9	53	4.5	73	5.8	34	2.8
セックス	187	16.8	175	15.4	223	19.0	192	16.5	243	19.4	192	15.7
合計	1111	100	1138	100	1175	100	1165	100	1251	100	1221	100

◆予防教育の教え方に対する要望（表 41）

中学生に性の予防教育を行なう場合の教え方に対する要望を尋ねた（表 41）。最も多い要望は「危ないことは危ないと教えて欲しい」で男子の 8 割、女子の 9 割が望んでいた。次が「恥ずかしがらずに堂々と教えて欲しい」で、男子の 5～6 割、女子の 6～7 割が望んでいた。また、女子の 6～7 割は男女別の授業を望んでいた。一般に、学年の上昇とともにニーズの上昇が認められた。

表 41. 教え方に対する要望

	1 年生				2 年生				3 年生			
	男	%	女	%	男	%	女	%	男	%	女	%
恥ずかしがらずに堂々と	506	45.5	622	54.7	617	52.5	757	65.0	781	62.4	859	70.4
危ないことは危ないと	872	78.5	1021	89.7	956	81.4	1042	89.4	1043	83.4	1140	93.4
男女別が良い	423	38.1	751	66.0	501	42.6	758	65.1	532	42.5	755	61.8
コンドームの使い方	297	26.7	353	31.0	425	36.2	481	41.3	521	41.6	609	49.9
専門家の話	280	25.2	261	22.9	308	26.2	328	28.2	422	33.7	419	34.3
熱心な人の話	259	23.3	225	19.8	285	24.3	259	22.2	343	27.4	341	27.9
身近な話	318	28.6	435	38.2	408	34.7	561	48.2	537	42.9	680	55.7
心配時連絡先	421	37.9	552	48.5	458	39.0	636	54.6	604	48.3	795	65.1
繰り返し教えてほしい	169	15.2	151	13.3	190	16.2	176	15.1	204	16.3	207	17.0
小学校低学年から性教育してほしい	132	11.9	91	8.0	159	13.5	102	8.8	181	14.5	133	10.9
合計	1111	100	1138	100	1175	100	1165	100	1251	100	1221	100

中学生プロジェクトの結果のまとめ

(1) 家庭生活

家族との会話頻度：男子の6～7割、女子の8～9割が家族とよく話をしていたが、家族との会話頻度が少ないほどセックスの容認度が上昇していた。

(2) エイズ性感染症関連知識の正解率

エイズ基礎知識の正解率は4～6割。エイズ検査関連知識：正解率は2～3割。STD関連知識：正解率は2～3割で、エイズ基礎知識以外は不十分であった。

(3) 性情報

性情報曝露の早期化：セックスの意味を知っている中学生は、7～9割で、ほとんどの生徒が知っていた。小学生までに知った生徒は5～7割であった。低学年ほど、小学生で知った割合が増加しており、性情報曝露の早期化がうかがわれた。最初の性情報源は「同性の友達」「テレビドラマ」「マンガ」で、低学年ほど「マンガ」の占める割合が増加しており、性情報源としての「マンガ」の影響を検討する必要があると考えられる。

(4) 性行動

性行動の無防備化：性経験者は中1で2%、中2で4%、中3で7%と低率であった。コンドーム使用状況は、「毎回使用者」は中1で1割、中2で3割、中3で4割と低学年ほど無防備であった。

(5) 性意識・予防情報

性規範：中学生のセックスを容認している割合は、3～4割で、高学年ほど、容認する割合が増えた。高校生のセックスを容認している中学生の割合はさらに増え、5～7割と高率であり、性経験率は低いですがセックス予備軍が多数存在している可能性が示唆された。

中絶：また、1～3割が身近に中絶経験者がいたが、身近な人に中絶経験がいる人ほど、中絶を「よくない」と捉えていた（調査前は、身近に中絶経験がいるほど中絶を簡単に捉える可能性があるかと予想していたが、結果は逆であった）。

性情報のアンバランス：セックスの意味を知っている生徒のうち、中1では、3～4割は「コンドーム」を知らず、5～7割は「中絶・避妊」の意味を知らなかった。このような基本的な予防情報の不足は学年が低いほど、また男子の方が顕著であった。これにより、不確かな情報源からの性情報は早くから得ているが、正しい性情報は不十分という性情報のアンバランスの現状が示された。

(6) 予防教育に対する要望

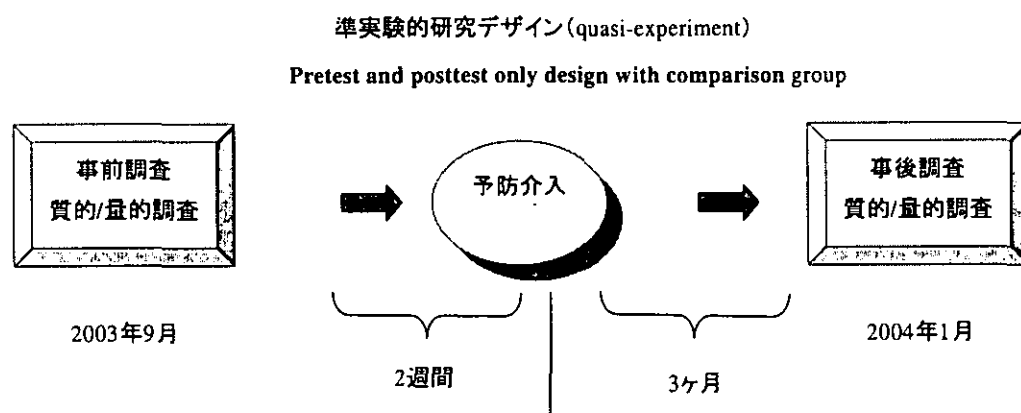
中学生の9割が「危ないことは危ないと教えて欲しい」と望み、女子の6～7割は男女別に教えて欲しいと望んでいた。

2-② モデル授業プロジェクト(学校ベースの予防介入):中学校

集団レベルの介入として、モデル授業プロジェクトを実施した。本プロジェクトは下記の研究デザインに沿って実施された。

◆準実験的研究デザイン

準実験的介入デザインを用い、C市全中学校における予防介入の評価を学校単位で行った。**Pretest-posttest with comparison group (比較群付前後比較試験)**: 介入前(2003年9月)と介入後(2004年1月)に質問紙調査(量的調査)とフォーカスグループインタビュー(質的調査)を実施し、学校間で介入内容に違いがあるのを利用して、最も介入レベルの低い学校群を比較群として、介入効果を評価した。(中学生の性経験率は極めて低いため、性行動としての評価は行わず、評価項目は、HIV/STD関連知識、コンドームに対する意識/態度、中学生のセックスに対する容認度とした。)



◆プロジェクトの流れ

- ① 2003年8月 校長・教頭・保健主事・養護教諭に対する説明会
- ② 2003年9月 校長会で説明会(予防教育の重要性について)
- ③ 2003年9月 事前調査(C市全中学生)
- ④ 2003年9月 予防教育担当者育成のための研修会
- ⑤ 2003年10月
- ⑥ 2003年11月 } 予防教育実施期間
- ⑦ 2003年12月 }
- ⑧ 2004年1月 事後調査(C市全中学生)

*調査実施の詳細に関しては前述。

*①、②の説明会に関しては「2-②C市中学生の知識/意識/行動に関する調査」の項を参照。

◆**研修会**: モデル授業実施に際しては、授業実施を可能にするための研修会を実施した。

実施日: 2003年9月、6時間の研修×1日

対象: 保健所の職員(エイズ予防および母子保健を担当している保健師: 出前授業予定者)、調査に参加した学校の養護教諭、保健体育教諭、家庭科教諭など予防教育を担当する可能性のある人

目的：今年度の調査結果に基づいて企画された授業案および教材を提供、説明し、予防教育担当者を育成する。

研修会の特徴：独自開発したビデオ、パワーポイント教材の提供。我々が提供する C 市中学生全体に対する平均的な授業案をさらに自分の学校の調査結果を踏まえて各自修正し、各学校に合わせた授業案を作成する。

研修会の構成：(6 時間コース)

- ① 講義 (第 1 部) : C 市の若者の性関連の疫学情報の提供+エイズ STD の基礎知識
- ② 講義 (第 2 部) : C 市中学生の知識・性意識/性行動の性別学年別の実態
* 予防教育実施のための環境整備 : 保護者や他の教諭/管理職に対する説明の仕方のマニュアル
- ③ 講義 (第 3 部) : 実際の授業実施方法 (導入方法の紹介、ビデオの説明のしかた、レクチャーの実例紹介 (パンフレットの説明のしかた、質問への答え方など、結び))
- ④ グループワーク : 同じ特徴をもつ学校群 (地域が近い、学校の種類が似ているなど) に分かれ、各学校で授業を行なう際の授業案を各グループで作成する。
- ⑤ 作成した授業案を発表し、参加者相互の意見交換と研修会講師からの助言。

◆モデル授業

対象: C 市の全中学生 (* 調査は中学 1 年~3 年全員を対象に行ったが、予防介入は 2~3 年生に実施)

授業実施者: 教師 (養護教諭、保健体育教諭、家庭科、担任)、保健所のエイズ予防担当保健師 (保健所からの出前授業として)、両者のチームティーチング

授業内容開発時の要点: リスク認知の向上(リスクを自分のこととして捉える : personalization) を最終ゴールとして下記の 3 点に配慮した。

- ① 調査に基づく内容 : その地域/学校の生徒の知識・意識・価値観に合わせた授業内容
- ② 地域性の強調 : 自分の住んでいる地域の疫学情報の提供 (リスクを身近に感じさせる)
- ③ STD/中絶の情報 : エイズよりも身近な情報 (特にエイズを強調しない性の予防教育)
- ④ 誰にでもリスク : ネットワークの概念を伝える

授業メッセージ要点

- ① 自分にもリスクがあること (上記①②③④の内容から理解を促す)
- ② セックスを急がないこと (ゆっくりと人間関係を築くこと) → 初交年齢を遅らせる
- ③ 将来セックスをするときには、相手に関わらずコンドームを使用すること
(* 特に中学生では対象のほぼ全員が未経験者であるため、②を強調する)
(* 但しコンドームの必要性は説明するが、特に具体的なコンドーム教育は強調しない)

授業構成: 授業は 3 部からなり、

- ① 導入 (アイスブレイキング) : ゲーム、クイズによるリラクシング。後の講義部分との関連づけを行い、吸収力を高める。また生徒が使用している用語および性の規範/意識の確認を行い、後の授業の参考にする。特に中学生の場合は、性に関してとまどっている生徒も多いことから、高校生以上に導入部分が必須。
- ② パワーポイント (20 分間) : WYSH パンフレット内容に沿った Q&A 形式のパワーポイント。前述の名刺サイズの C 市中中学生用パンフ (次ページ参照) と大型スクリーンを使ったパワーポイント使用により、地域限定・対象校限定の情報を提供し、さらに中学生に共通する誤解や質問に答える形式とした。授業の最後にパンフレット配布し家庭での復習も可能とする。

- ③ **ビデオ上映 (10 分間)**: ビデオ内容は、第 1 部では中絶とはどのような医療行為であるかを胎児の成長過程とともに示した。さらに第 2 部では、クラミジアを治療しないで放置すると女性の体内でどのようなことが起こるかをコンピューターグラフィックを用いた映像で示し、症状がなくても放置すると危険であることを伝えた。ビデオの画像と音声だけでは重要な情報を聞き流す恐れがあるため、特に強調したい情報はビデオ上に文字として加え記憶にとどまりやすいように配慮した。これら 1 部と 2 部のビデオを上記パワーポイントの途中で上映し、ビジュアル効果によりインパクトを高めた。
- ④ **参加型グループワーク**: 導入や予防方法など親しい友達同士のグループにわかれ、一方的な講義形式でない全員参加型の授業とした。特にどうしたら予防できるかに関しては、top-down に大人が指導するのではなく、生徒たちなりの予防策を考えてもらい、議論を通して、適切と思われる予防策を一緒に考える形式とした。

介入の評価方法

本年度、C 市で実施された様々なレベルの予防介入の効果を、C 市全域の中学 2 年生/3 年生で評価した。調査参加校を、学校内の介入内容（各学校の養護教諭にアンケートを行なった）により、中 2、中 3 とも 6 つの学校群に分類した。まず、中学校 2 年生では、学校群 1 (G1) は、モデル授業（我々のデザインした授業と同じ教材を用いて、保健所職員あるいはその学校の先生が研修を受けて実施）と通常授業を実施した学校群、学校群 2 (G2) は、モデル授業のみを行なった学校群、学校群 3 (G3) は、通常授業と準モデル授業（対象校の調査結果および教師の判断により一部を削除）を実施した学校群、学校群 4 (G4) は、準モデル授業を実施した学校群、学校群 5 (G5) は準モデル授業（特にコンドーム説明部分を削除）した学校群、学校群 6 (G6) は通常授業を実施した学校群であった。介入の評価は、通常授業のみが行なわれた G6 を比較のベースにした（表 1）。（中学 2 年生では、参加校総数は 22 校であったが、うち 2 校が「準モデル授業+通常授業」という教育内容であったが、生徒数が少なすぎて、1 つの学校群として独立させることが出来なかったため、集計からは除外した。したがって評価に用いた中学校総数は 20 校となった）次に中学 3 年生の予防介入状況は、学校群 5 (G5) が準モデル授業（コンドーム抜き）と通常授業を実施している点だけが異なっているが、他は中学 2 年生と全く同じ介入内容であった（表 2）。（中学 3 年生の調査参加校は事前調査では 22 校であったが、事後調査は受検の関係で参加校が減少し、プロジェクトには 17 校が参加した。）

表 1. 学校群別予防介入内容の内訳 (中学 2 年生)

	G1	G2	G3	G4	G5	G6
学校数	2	5	4	3	2	4
生徒総数	347	555	323	381	284	387
モデル授業	○	○				
準モデル授業			○	○		
準モ (コンドーム抜き)					○	
通常授業	○		○			○

表 2. 学校群別予防介入内容の内訳 (中学 3 年生)

	G1	G2	G3	G4	G5	G6
学校数	4	3	2	3	3	3
生徒総数	299	237	399	181	204	308
モデル授業	○	○				
準モデル授業			○	○		
準モ (コンドーム抜き)					○	
通常授業	○		○		○	○

◆プロセス評価（ポスター・パンフの曝露状況）

C 市中学生のポスター・パンフへの曝露状況を示す。ポスターを見た生徒は、男子は 16～29%、女子では 22～35%と 2～4 割で、全体では高学年ほど上昇し、女子の方が高かった（ $p<0.01$, 0.001 ）（表①）。パンフをもらった割合、男子は 27～59%、女子 28～71%と全体では 3～7 割で、高学年ほど上昇し（男女とも $p<0.001$ ）、女子の方が高率であった（2年、3年は男女差 $p<0.001$ ）（表②）。パンフをもらった人のうち、今もまだ所持している人は、男子 59～34%、女子 67～49%と、全体では 6 割～3 割で、高学年ほど減少し（男女とも $p<0.001$ ）、女子の方が高かった（ $p<0.05$, 0.01 , 0.001 ）（表③）。そのうち、他の人に見せた割合は、学年性別による差はなく、約 3 割の人が他の人に見せていた（表④）。見せた人うち、友人に見せた人が最も多く、男子 70～90%、女子 74～64%と 6～9 割近い人がもらったパンフを友達にも見せていた（表⑤）。また親に見せた割合は、男子 20～15%で、女子 29～39%と 2～3 割で、女子の方が親に見せていることが明らかとなった（全学年合計で男女差 $p<0.001$ ）。一方、親とエイズ・STD・中絶の話をした割合は男子の約 6%、女子では 7～12%と 1 割近い人がパンフレットによって親子の会話に発展していた（全学年合計で男女差 $p<0.001$ ）。

表① ポスターを見た人の割合

	男子	女子
中学1年生	16.0	21.7
中学2年生	21.8	27.6
中学3年生	29.0	34.7

表② パンフをもらった人の割合

	男子	女子
中学1年生	26.9	28.1
中学2年生	38.6	56.1
中学3年生	59.3	70.7

表③ 今もパンフを持っている割合

	男子	女子
中学1年生	58.5	66.6
中学2年生	45.9	54.5
中学3年生	33.6	49.0

表④ パンフを他の人にも見せたか？

	男子	女子
中学1年生	26.1	33.4
中学2年生	29.6	30.7
中学3年生	29.2	30.8

表⑤ 友人に見せた割合（見せた人の中で）

	男子	女子
中学1年生	70.1	73.5
中学2年生	90.2	76.2
中学3年生	85.1	64.1

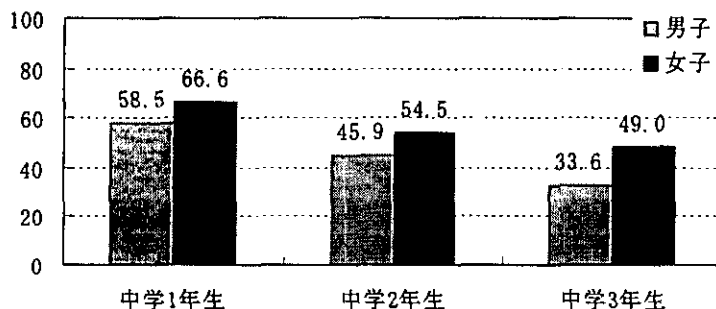
表⑥ 親に見せた割合（見せた人の中で）

	男子	女子
中学1年生	19.5	29.4
中学2年生	17.3	23.3
中学3年生	14.9	38.9

表⑦ 親とエイズ・STD・中絶の話をした割合（全生徒中）

	男子	女子
中学1年生	6.3	7.6
中学2年生	6.5	11.5
中学3年生	6.2	11.7

参考：パンフをもらった後今も持っている生徒の割合



(1) 知識 (knowledge) : 一般① (中学2年生)

エイズ/性感染症に関する知識項目の正解率を介入の前後で比較した。G1の[モデル授業群+通常授業]群における知識の平均値は、介入により、男子では42.4%、女子では47.4%の上昇が見られた(表3)。G2の[モデル授業]群でも、知識の平均値が、男子30.4%、女子31.5%の上昇が観察された(表4)。G3の[準モデル授業+通常授業]群では、男子25.7%、女子33.5%正解率が上昇した(表5)。G4の[準モデル授業]群では、男子28.8%、女子34.6%(表6)とG1~G4までは約30~50%近い大幅な知識上昇が見られた。G5の[準モデル授業(コンドーム抜き)]群では、男子20.8%、女子19.5%と約20%程度の上昇にとどまった(表7)。さらにG6の[通常授業のみ]群の正解率は、男子6.3%、女子5.6%とわずか数%の上昇で、全学校群中最も低い上昇率であった(表8)。介入レベルの差異による学校群別の知識の正解率の変化を図1に示した。図に示されるように、G1、G2、G3、G4群のモデル授業実施群で約30%以上の正解率の上昇が観察されたが、G5の準モデル授業実施群(コンドーム抜き)では知識の上昇は20%前後、さらに通常授業のみの学校群では数%の上昇にとどまった。統計学的には、事前事後の変化は、全グループにおいて有意($p < 0.01, 0.001$)であった(対応のあるt検定)。

表3. HIV/STD関連知識の変化 (グループ1: モデル授業+通常授業)

知識項目 (パンフ関連)	男子			女子		
	事前	事後	差	事前	事後	差
	174	176		173	158	
1 若者HIV増加	40.9	83.3	42.4	46.8	87.3	40.5
2 HIV食器	41.5	77.0	35.5	43.9	92.4	48.5
3 HIV風呂	43.2	83.3	40.1	41.0	88.6	47.6
4 HIVトイレ	53.4	82.8	29.4	42.2	88.6	46.4
5 HIV検査数日	9.1	49.4	40.3	10.4	70.3	59.9
6 国に報告	21.0	64.9	43.9	37.6	79.1	41.5
7 保健所検査	16.5	72.4	55.9	22.5	89.9	67.4
8 若者STD増加	39.2	83.3	44.1	45.1	91.1	46.0
9 クラミアは性病	11.4	76.4	65.0	10.4	79.1	68.7
10 HIVとSTD相互作用	14.2	52.3	38.1	20.8	62.7	41.9
11 STDは必ず有症状	14.2	36.2	22.0	12.7	62.7	50.0
12 STDは不妊の原因	19.9	59.8	39.9	19.1	72.2	53.1
13 STDは子宮癌原因	13.1	54.0	40.9	16.2	65.8	49.6
14 コンドームSTD予防	50.6	87.9	37.3	50.3	78.5	28.2
15 ビルは避妊薬	17.6	68.4	50.8	32.4	88.6	56.2
16 ビルでHIV・STD予防	11.4	58.0	46.6	12.7	77.8	65.1
17 安全日の避妊効果	20.5	59.2	38.7	41.0	70.9	29.9
18 中絶の意味	33.5	85.6	52.1	64.2	97.5	33.3
19 避妊の意味	40.3	82.2	41.9	63.0	89.9	26.9
平均	26.9	69.3	42.4	33.3	80.7	47.4

表4. HIV/STD関連知識の変化 (グループ2: モデル授業)

知識項目 (パンフ関連)	男子			女子		
	事前	事後	差	事前	事後	差
	287	275		268	266	
1 若者HIV増加	38.7	72.4	33.7	47.8	86.5	38.7
2 HIV食器	48.8	72.0	23.2	60.1	75.6	15.5
3 HIV風呂	51.9	71.3	19.4	52.6	63.9	11.3
4 HIVトイレ	52.3	72.7	20.4	51.5	70.3	18.8
5 HIV検査数日	9.8	35.6	25.8	11.9	38.0	26.1
6 国に報告	25.8	42.9	17.1	38.4	50.0	11.6
7 保健所検査	15.0	44.4	29.4	16.0	51.9	35.9
8 若者STD増加	38.0	71.3	33.3	49.3	84.6	35.3
9 クラシミアは性病	10.5	59.3	48.8	14.2	73.7	59.5
10 HIVとSTD相互作用	11.8	49.8	38.0	16.0	59.4	43.4
11 STDは必ず有症状	8.7	37.8	29.1	10.1	56.4	46.3
12 STDは不妊の原因	17.1	57.8	40.7	30.2	69.9	39.7
13 STDは子宮癌原因	11.8	48.0	36.2	18.3	53.4	35.1
14 コンドームSTD予防	49.5	78.2	28.7	52.6	81.6	29.0
15 ビルは避妊薬	29.6	63.6	34.0	42.9	78.9	36.0
16 ビルでHIV・STD予防	11.5	50.9	39.4	12.3	57.9	45.6
17 安全日の避妊効果	18.1	37.1	19.0	36.9	60.9	24.0
18 中絶の意味	38.7	73.1	34.4	64.9	94.0	29.1
19 避妊の意味	39.7	66.5	26.8	70.9	88.3	17.4
	27.8	58.1	30.4	36.7	68.2	31.5

表5. HIV/STD関連知識の変化 (グループ3: 準モデル授業+通常授業)

知識項目 (パンフ関連)	男子			女子		
	事前	事後	差	事前	事後	差
	156	137		167	156	
1 若者HIV増加	48.1	72.3	24.2	52.7	90.4	37.7
2 HIV食器	44.9	72.3	27.4	53.3	80.8	27.5
3 HIV風呂	42.9	65.0	22.1	49.7	73.1	23.4
4 HIVトイレ	48.7	70.1	21.4	47.3	80.1	32.8
5 HIV検査数日	9.6	26.3	16.7	9.6	35.9	26.3
6 国に報告	28.8	29.2	0.4	36.5	44.2	7.7
7 保健所検査	15.4	35.0	19.6	17.4	51.3	33.9
8 若者STD増加	42.9	65.0	22.1	43.7	87.8	44.1
9 クラシミアは性病	13.5	62.0	48.5	18.6	73.7	55.1
10 HIVとSTD相互作用	14.1	41.6	27.5	22.2	65.4	43.2
11 STDは必ず有症状	10.3	32.8	22.5	13.8	42.9	29.1
12 STDは不妊の原因	22.4	50.4	28.0	31.1	68.6	37.5
13 STDは子宮癌原因	19.9	38.0	18.1	19.2	57.7	38.5
14 コンドームSTD予防	48.7	78.1	29.4	50.3	84.0	33.7
15 ビルは避妊薬	15.4	61.3	45.9	35.3	81.4	46.1
16 ビルでHIV・STD予防	10.3	47.4	37.1	20.4	67.3	46.9
17 安全日の避妊効果	24.4	38.0	13.6	44.9	59.0	14.1
18 中絶の意味	27.6	73.0	45.4	55.7	92.9	37.2
19 避妊の意味	37.8	56.9	19.1	58.7	79.5	20.8
	27.7	53.4	25.7	35.8	69.3	33.5

表6. HIV/STD関連知識の変化 (グループ4: 準モデル授業)

知識項目 (パンフ関連)	男子			女子		
	事前	事後	差	事前	事後	差
	192	187		189	188	
1 若者HIV増加	44.3	81.3	37.0	52.4	87.8	35.4
2 HIV食器	53.1	77.0	23.9	55.6	89.9	34.3
3 HIV風呂	52.6	74.3	21.7	48.1	84.6	36.5
4 HIVトイレ	53.1	76.5	23.4	52.4	85.6	33.2
5 HIV検査数日	13.0	24.6	11.6	11.1	41.0	29.9
6 国に報告	27.1	26.2	-0.9	30.7	41.5	10.8
7 保健所検査	18.8	22.5	3.7	25.4	39.4	14.0
8 若者STD増加	41.1	77.0	35.9	50.8	85.1	34.3
9 クラミアは性病	16.1	66.8	50.7	16.4	76.1	59.7
10 HIVとSTD相互作用	21.9	50.8	28.9	21.2	53.2	32.0
11 STDは必ず有症状	10.4	38.5	28.1	14.3	51.1	36.8
12 STDは不妊の原因	24.0	57.2	33.2	31.7	75.0	43.3
13 STDは子宮癌原因	18.2	50.8	32.6	22.2	64.9	42.7
14 コンドームSTD予防	52.1	85.6	33.5	52.4	88.8	36.4
15 ビルは避妊薬	18.2	66.8	48.6	33.9	81.9	48.0
16 ビルでHIV・STD予防	8.3	59.9	51.6	18.5	69.7	51.2
17 安全日の避妊効果	18.8	27.8	9.0	37.6	58.0	20.4
18 中絶の意味	31.8	79.7	47.9	57.1	93.1	36.0
19 避妊の意味	39.1	66.8	27.7	59.3	81.4	22.1
	29.6	58.4	28.8	36.4	71.0	34.6

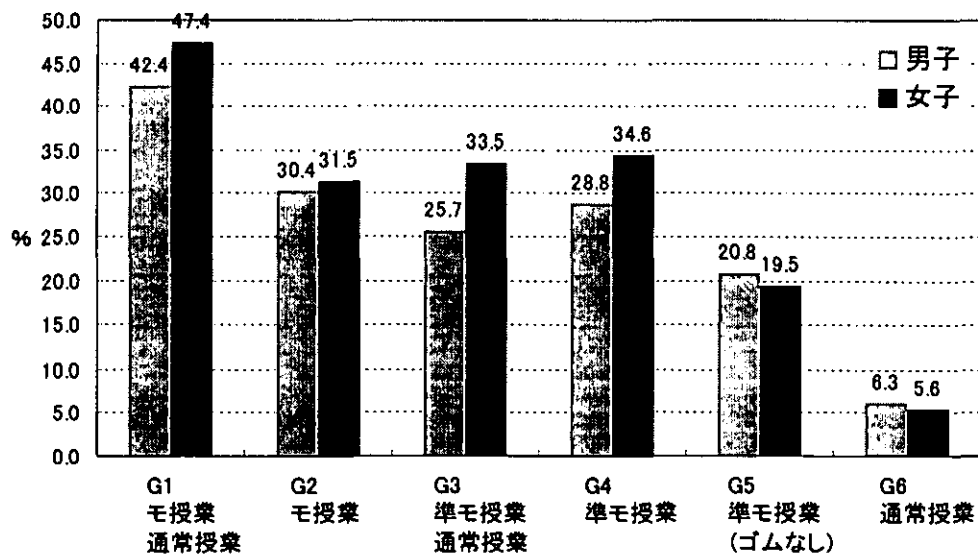
表7. HIV/STD関連知識の変化 (グループ5: 準モデル授業「 condom 抜き」)

知識項目 (パンフ関連)	男子			女子		
	事前	事後	差	事前	事後	差
	144	133		140	139	
1 若者HIV増加	50.7	82.7	32.0	50.0	82.7	32.7
2 HIV食器	59.0	70.7	11.7	54.3	76.3	22.0
3 HIV風呂	59.7	68.4	8.7	51.4	64.7	13.3
4 HIVトイレ	63.9	69.9	6.0	51.4	61.9	10.5
5 HIV検査数日	15.3	22.6	7.3	14.3	30.2	15.9
6 国に報告	29.9	26.3	-3.6	27.9	28.1	0.2
7 保健所検査	25.0	32.3	7.3	22.9	38.8	15.9
8 若者STD増加	43.1	75.9	32.8	56.4	84.2	27.8
9 クラミアは性病	13.2	55.6	42.4	15.0	54.7	39.7
10 HIVとSTD相互作用	22.9	46.6	23.7	25.0	46.0	21.0
11 STDは必ず有症状	16.7	38.3	21.6	14.3	46.8	32.5
12 STDは不妊の原因	24.3	48.1	23.8	37.9	55.4	17.5
13 STDは子宮癌原因	18.8	37.6	18.8	22.9	36.0	13.1
14 コンドームSTD予防	52.1	73.7	21.6	63.6	71.9	8.3
15 ビルは避妊薬	11.8	49.6	37.8	44.3	71.2	26.9
16 ビルでHIV・STD予防	7.6	35.3	27.7	18.6	51.8	33.2
17 安全日の避妊効果	15.3	27.8	12.5	49.3	54.7	5.4
18 中絶の意味	36.1	82.0	45.9	68.6	94.2	25.6
19 避妊の意味	36.8	54.9	18.1	73.6	82.0	8.4
	31.7	52.5	20.8	40.1	59.6	19.5

表8. HIV/STD関連知識の変化 (グループ6：通常授業)

知識項目 (パンフ関連)	男子			女子		
	事前	事後	差	事前	事後	差
	199	199		199	188	
1 若者HIV増加	44.2	49.7	5.5	54.3	67.0	12.7
2 HIV食器	39.2	49.2	10.0	50.8	59.0	8.2
3 HIV風呂	36.7	45.7	9.0	42.2	49.5	7.3
4 HIVトイレ	46.2	48.2	2.0	46.2	49.5	3.3
5 HIV検査数日	9.0	9.0	0.0	9.0	8.0	-1.0
6 国に報告	25.6	27.1	1.5	30.2	32.4	2.2
7 保健所検査	18.6	27.6	9.0	16.1	23.4	7.3
8 若者STD増加	36.7	44.2	7.5	51.3	29.3	-22.0
9 クラミジアは性病	12.6	19.6	7.0	17.6	29.3	11.7
10 HIVとSTD相互作用	19.1	21.1	2.0	22.1	26.1	4.0
11 STDは必ず有症状	11.1	14.6	3.5	11.6	18.1	6.5
12 STDは不妊の原因	20.6	27.6	7.0	31.7	39.9	8.2
13 STDは子宮癌原因	14.1	20.1	6.0	18.6	28.2	9.6
14 コンドームSTD予防	53.3	52.3	-1.0	57.3	62.2	4.9
15 ビルは避妊薬	16.6	24.6	8.0	35.7	48.9	13.2
16 ビルでHIV・STD予防	7.5	13.6	6.1	15.1	22.9	7.8
17 安全日の避妊効果	14.6	23.6	9.0	42.7	47.3	4.6
18 中絶の意味	36.2	46.2	10.0	67.8	79.3	11.5
19 避妊の意味	30.2	47.2	17.0	65.3	71.8	6.5
	25.9	32.2	6.3	36.1	41.7	5.6

図1. HIV/STD関連知識の正解率の変化(中学2年生)



(1) 知識 (knowledge) : 一般② (中学3年生)

エイズ/性感染症に関する知識項目の正解率を介入の前後で比較した。G1の[モデル授業群+通常授業]群における知識の平均値は、介入により、男子では28.5%、女子では33.8%の上昇が見られた(表9)。G2の[モデル授業]群でも、知識の平均値が、男子26.3%、女子33.4%の上昇が観察された(表10)。G3の[準モデル授業+通常授業]群では、男子28.4%、女子31.1%正解率が上昇した(表11)。G4の[準モデル授業]群では、男子28.6%、女子29.0%(表12)と、G1~G4までは約30%近い知識上昇が見られた。G5の[準モデル授業(コンドームなし)+通常授業]群では、男子27.1%、女子19.5%と上昇率が男女で上昇率異なり、20~30%の上昇であった(表13)。さらにG6の[通常授業のみ]群の正解率は、男子13.9%、女子20.1%の上昇で、全学校群中最も低い上昇率であった(表14)。介入レベルの差異による学校群別の知識の正解率の変化を図2に示した。図2に示されるように、G1、G2、G3、G4群のモデル授業実施群で約30%の正解率の上昇が観察されたが、準モデル授業(コンドーム抜き)+通常授業実施群の学校群では知識の上昇は20~30%、さらに通常授業のみの学校群では10~20%の上昇にとどまった。統計学的には、事前事後の変化は、全グループにおいて有意($p < 0.001$)であった(対応のあるt検定)。

表9. HIV/STD関連知識の正解率の変化(グループ1:モデル授業+通常授業)

知識項目(パンフ関連)	男子			女子		
	事前	事後	差	事前	事後	差
	144	134		155	152	
1 若者HIV増加	55.6	79.9	24.3	66.5	91.4	24.9
2 HIV食器	50.0	75.4	25.4	60.0	92.8	32.8
3 HIV風呂	45.8	72.4	26.6	52.9	92.1	39.2
4 HIVトイレ	47.9	69.4	21.5	54.2	93.4	39.2
5 HIV検査数日	9.0	56.7	47.7	16.8	65.1	48.3
6 国に報告	29.2	58.2	29.0	33.5	81.6	48.1
7 保健所検査	27.8	71.6	43.8	23.2	92.8	69.6
8 若者STD増加	54.9	82.8	27.9	65.8	92.1	26.3
9 クラミジアは性病	22.9	55.2	32.3	27.7	78.9	51.2
10 HIVとSTD相互作用	23.6	52.2	28.6	32.9	57.2	24.3
11 STDは必ず有症状	8.3	44.8	36.5	17.4	62.5	45.1
12 STDは不妊の原因	32.6	54.5	21.9	41.9	69.7	27.8
13 STDは子宮癌原因	25.7	53.0	27.3	27.7	50.0	22.3
14 コンドームSTD予防	65.3	81.3	16.0	57.4	84.9	27.5
15 ビルは避妊薬	27.1	58.2	31.1	44.5	75.0	30.5
16 ビルでHIV・STD予防	13.2	46.3	33.1	27.1	59.9	32.8
17 安全日の避妊効果	31.9	53.0	21.1	59.4	80.9	21.5
18 中絶の意味	50.0	74.6	24.6	88.4	98.0	9.6
19 避妊の意味	49.3	71.6	22.3	74.2	96.1	21.9
	35.3	63.7	28.5	45.9	79.7	33.8

表10. HIV/STD関連知識の正解率の変化 (グループ2: モデル授業)

知識項目 (パンフ関連)	男子			女子		
	事前	事後	差	事前	事後	差
	125	126		113	112	
1 若者HIV増加	65.6	84.9	19.3	71.7	94.6	22.9
2 HIV食器	46.4	75.4	29.0	63.7	95.5	31.8
3 HIV風呂	46.4	75.4	29.0	49.6	93.8	44.2
4 HIVトイレ	56.0	73.8	17.8	52.2	95.5	43.3
5 HIV検査数日	10.4	43.7	33.3	23.9	63.4	39.5
6 国に報告	28.0	61.1	33.1	35.4	79.5	44.1
7 保健所検査	21.6	71.4	49.8	17.7	86.6	68.9
8 若者STD増加	60.0	84.1	24.1	76.1	93.8	17.7
9 クラミアは性病	33.6	71.4	37.8	35.4	80.4	45.0
10 HIVとSTD相互作用	37.6	53.2	15.6	33.6	67.0	33.4
11 STDは必ず有症状	20.0	46.0	26.0	31.9	61.6	29.7
12 STDは不妊の原因	32.8	42.1	9.3	38.9	69.6	30.7
13 STDは子宮癌原因	26.4	45.2	18.8	21.2	52.7	31.5
14 コンドームSTD予防	68.8	88.1	19.3	71.7	94.6	22.9
15 ピルは避妊薬	30.4	64.3	33.9	40.7	79.5	38.8
16 ピルでHIV・STD予防	12.8	48.4	35.6	16.8	64.3	47.5
17 安全日の避妊効果	26.4	46.0	19.6	52.2	67.0	14.8
18 中絶の意味	49.6	78.6	29.0	81.4	97.3	15.9
19 避妊の意味	54.4	74.6	20.2	84.1	96.4	12.3
	38.3	64.6	26.3	47.3	80.7	33.4

表11. HIV/STD関連知識の正解率の変化 (グループ3: 準モデル授業+通常授業)

知識項目 (パンフ関連)	男子			女子		
	事前	事後	差	事前	事後	差
	196	174		203	184	
1 若者HIV増加	56.6	86.2	29.6	73.4	96.7	23.3
2 HIV食器	54.1	75.9	21.8	67.5	91.3	23.8
3 HIV風呂	53.6	73.6	20.0	53.7	85.3	31.6
4 HIVトイレ	53.1	78.7	25.6	59.1	85.9	26.8
5 HIV検査数日	13.3	34.5	21.2	13.3	38.6	25.3
6 国に報告	19.9	35.6	15.7	34.0	62.0	28.0
7 保健所検査	22.4	59.2	36.8	30.5	85.9	55.4
8 若者STD増加	55.1	83.9	28.8	71.4	96.2	24.8
9 クラミアは性病	15.8	63.8	48.0	29.1	84.2	55.1
10 HIVとSTD相互作用	18.4	58.0	39.6	27.1	67.4	40.3
11 STDは必ず有症状	18.9	44.8	25.9	23.6	63.0	39.4
12 STDは不妊の原因	30.1	60.3	30.2	47.3	73.9	26.6
13 STDは子宮癌原因	20.4	54.0	33.6	32.5	67.9	35.4
14 コンドームSTD予防	59.2	85.1	25.9	70.4	90.8	20.4
15 ピルは避妊薬	33.2	71.8	38.6	48.3	80.4	32.1
16 ピルでHIV・STD予防	17.9	53.4	35.5	26.6	72.8	46.2
17 安全日の避妊効果	27.6	47.7	20.1	55.7	80.4	24.7
18 中絶の意味	46.4	74.7	28.3	77.8	97.3	19.5
19 避妊の意味	51.0	66.1	15.1	81.3	92.9	11.6
	35.1	63.5	28.4	48.6	79.6	31.1

表12. HIV/STD関連知識の正解率の変化 (グループ4: 準モデル授業)

知識項目 (パンフ関連)	男子			女子		
	事前	事後	差	事前	事後	差
	98	97		83	84	
1 若者H I V増加	65.3	92.8	27.5	67.5	94.0	26.5
2 HIV食器	52.0	89.7	37.7	60.2	88.1	27.9
3 HIV風呂	54.1	91.8	37.7	45.8	81.0	35.2
4 HIVトイレ	54.1	86.6	32.5	60.2	83.3	23.1
5 HIV検査数日	23.5	51.5	28.0	14.5	42.9	28.4
6 国に報告	25.5	24.7	-0.8	44.6	45.2	0.6
7 保健所検査	24.5	36.1	11.6	26.5	50.0	23.5
8 若者STD増加	60.2	83.5	23.3	62.7	94.0	31.3
9 クラミジアは性病	17.3	73.2	55.9	14.5	76.2	61.7
10 HIVとSTD相互作用	25.5	61.9	36.4	32.5	63.1	30.6
11 STDは必ず有症状	19.4	47.4	28.0	15.7	50.0	34.3
12 STDは不妊の原因	33.7	56.7	23.0	41.0	71.4	30.4
13 STDは子宮癌原因	23.5	51.5	28.0	31.3	60.7	29.4
14 コンドームSTD予防	59.2	84.5	25.3	63.9	81.0	17.1
15 ビルは避妊薬	27.6	74.2	46.6	36.1	73.8	37.7
16 ビルでHIV・STD予防	13.3	61.9	48.6	25.3	78.6	53.3
17 安全日の避妊効果	27.6	35.1	7.5	55.4	79.8	24.4
18 中絶の意味	57.1	81.4	24.3	73.5	96.4	22.9
19 避妊の意味	46.9	70.1	23.2	73.5	85.7	12.2
	37.4	66.0	28.6	44.5	73.4	29.0

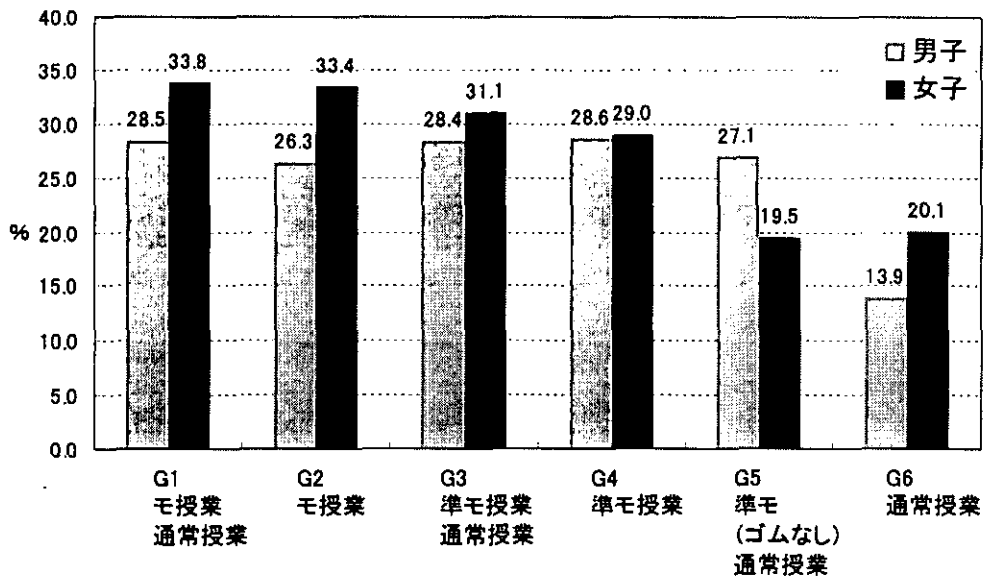
表13. HIV/STD関連知識の正解率の変化 (グループ5: 準モ(コントロールなし)授業+通常授業)

知識項目 (パンフ関連)	男子			女子		
	事前	事後	差	事前	事後	差
	105	105		99	91	
1 若者H I V増加	64.8	81.9	17.1	81.8	94.5	12.7
2 HIV食器	50.5	79.0	28.5	73.7	93.4	19.7
3 HIV風呂	51.4	81.9	30.5	71.7	94.5	22.8
4 HIVトイレ	50.5	78.1	27.6	69.7	89.0	19.3
5 HIV検査数日	8.6	53.3	44.7	27.3	48.4	21.1
6 国に報告	26.7	37.1	10.4	52.5	53.8	1.3
7 保健所検査	19.0	30.5	11.5	18.2	33.0	14.8
8 若者STD増加	59.0	83.8	24.8	82.8	95.6	12.8
9 クラミジアは性病	26.7	62.9	36.2	35.4	80.2	44.8
10 HIVとSTD相互作用	19.0	45.7	26.7	22.2	58.2	36.0
11 STDは必ず有症状	11.4	40.0	28.6	20.2	53.8	33.6
12 STDは不妊の原因	24.8	55.2	30.4	39.4	67.0	27.6
13 STDは子宮癌原因	24.8	48.6	23.8	24.2	45.1	20.9
14 コンドームSTD予防	54.3	81.0	26.7	75.8	91.2	15.4
15 ビルは避妊薬	21.9	64.8	42.9	55.6	78.0	22.4
16 ビルでHIV・STD予防	16.2	45.7	29.5	24.2	50.5	26.3
17 安全日の避妊効果	21.9	41.9	20.0	61.6	65.9	4.3
18 中絶の意味	42.9	71.4	28.5	87.9	92.3	4.4
19 避妊の意味	47.6	73.3	25.7	83.8	94.5	10.7
	33.8	60.8	27.1	53.1	72.6	19.5

表14. HIV/STD関連知識の正解率の変化 (グループ6：通常授業)

知識項目 (パンフ関連)	男子			女子		
	事前	事後	差	事前	事後	差
	158	148		150	146	
1 若者H I V増加	60.1	75	14.9	62.7	89	26.3
2 HIV食器	59.5	79.7	20.2	58.7	88.4	29.7
3 HIV風呂	56.3	80.4	24.1	49.3	82.2	32.9
4 HIVトイレ	60.1	81.8	21.7	49.3	88.4	39.1
5 HIV検査数日	17.7	43.9	26.2	17.3	43.8	26.5
6 国に報告	31.6	42.6	11	38	51.4	13.4
7 保健所検査	24.1	48.6	24.5	18.7	58.2	39.5
8 若者STD増加	58.9	70.9	12	63.3	86.3	23.0
9 クラミジアは性病	25.3	35.1	9.8	28	47.9	19.9
10 HIVとSTD相互作用	20.9	26.4	5.5	27.3	47.9	20.6
11 STDは必ず有症状	15.8	26.4	10.6	19.3	31.5	12.2
12 STDは不妊の原因	27.2	30.4	3.2	39.3	45.2	5.9
13 STDは子宮癌原因	24.1	29.1	5.0	25.3	35.6	10.3
14 コンドームSTD予防	62.0	75.7	13.7	64	76.0	12.0
15 ビルは避妊薬	33.5	50.7	17.2	56	71.9	15.9
16 ビルでHIV・STD予防	17.1	35.1	18.0	23.3	41.1	17.8
17 安全日の避妊効果	29.7	39.9	10.2	56.7	70.5	13.8
18 中絶の意味	55.1	67.6	12.5	72	85.6	13.6
19 避妊の意味	77.2	81.8	4.6	81.3	90.4	9.1
	39.8	53.7	13.9	44.7	64.8	20.1

図2.HIV/STD関連知識の正解率の変化(中学3年生)



(1) 知識 (knowledge) : コンドーム① (中学2年生)

中学2年生に「コンドームが何か知っているか」尋ねた。表15に介入前後のコンドーム認知率(%)を性別介入群別に示し、図3には認知率の介入前後の差を示した。G1~G5の学校群では、多少ばらつきはあるものの、10~20%程度の認知率の上昇が観察された(但しG5群の女子の上昇率はG6と同程度で低かった)($p < 0.01, 0.001$)。G6の通常授業のみの学校群では、認知率の上昇は10%未満にとどまった(男 $p = 0.05$, 女 $p = 0.06$)。

表15. コンドームを知っている人の割合の変化(中学2年生)

	男子			女子		
	事前	事後	差	事前	事後	差
G1	n	176	174	173	158	
	ゴム知	68.2	90.8	22.6	75.7	21.1
G2	n	287	275	268	266	
	ゴム知	74.2	86.2	12.0	77.6	16.0
G3	n	137	156	167	156	
	ゴム知	71.2	83.9	12.7	80.2	13.4
G4	n	192	187	189	188	
	ゴム知	68.2	85.6	17.4	67.7	22.2
G5	n	144	133	140	139	
	ゴム知	65.3	85.0	19.7	87.9	7.8
G6	n	199	199	199	188	
	ゴム知	64.8	73.9	9.1	73.4	8.0

図3. コンドームを知っている割合の変化(中学2年生)

